※令和３年度以前入学生用

学校番号	1004

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	課題研究	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	家庭科５５（ＧＯ！Ｇｏ！）資料集　資料＋食品図鑑　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生活の質を高めるための知識や技術を身につけるとともに、問題解決の能力や創造性を身につけるための学習を行います。自ら課題を設定し、調査を行い、そのまとめをレポートにし発表します。

※教材費が必要になります。

２　学習の到達目標

生活産業の各分野に関する課題を設定し、その課題の解決を図る学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	「家庭」に関する学習に関心を持ち、意欲的に調査研究したい課題を見つけ、課題解決の方法を検討することができる。	課題解決に向けて思考し、レポート等にまとめ、発表することができる。 創意工夫した作品製作に取り組むことができる。	調査研究を行い、的確にまとめることができる。 作品製作に必要な技術を身に着け、創意工夫することができる。	課題解決を図る学習を通して知識を習得することができる。 また、得られた知識を実際の場面に応用発展できる。
評価方法	学習態度の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価、相互評価 等	学習態度の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価、相互評価 等	学習態度の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価、相互評価 等	学習態度の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価、相互評価 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	青年期・家族	人の一生と青年期の課題 家庭と社会の関係	○ ○	 ○	 ○	○	a:青年期の課題や家族・家庭についての学習を自分の問題として捉えようとしている。 b:青年期の課題やこれからの家族のあり方について考え、意見をまとめたり発表したりしている。 c:自分の人生をどのように送るか、関連資料などを参考に将来を想像しながらまとめることができる。 d:青年期の自立や現代の家族の特徴について理解している。	学習態度の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価、相互評価
	衣生活	衣服の成り立ち 衣服の管理 被服実習	○ ○ ○	○ ○ 	 ○	○ ○ 	a:衣生活の文化とその背景について考えようとしている。被服製作実習に意欲的に取り組もうとしている。 b:衣生活に関する学習を通して、自分の着装について考え、まとめたり発表したりしている。 c:社会慣習に適応しながらも自己実現する着装の工夫をし、着用の目的に応じて衣服選択と着装ができる。 d:平面構成と立体構成の特徴を理解している。	学習態度の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価、相互評価

※令和３年度以前入学生用

2学期	食生活	食生活と環境 食の安全	○ ○	○ ○	○	 ○	a:食生活の多様化や食環境の変化を知り、食生活と環境について科学的に考えようとしている。食の安全について関心を持ち、現代の食生活における課題について目を向けている。 b:自身の食生活を分析し、現代の食生活の傾向と課題について考え、まとめたり発表したりしている。 c:資源、エネルギーに配慮した食品の購入計画を立てることができる。 d:現代の食生活における食の安全に関する基礎的な知識を理解している。	学習態度の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価、相互評価
	住生活	住環境と地域社会	○	○	○	○	a:地域のコミュニティと共生できる住居のあり方などについて理解しようとしている。 b:自然環境と社会環境と調和した住居あり方について資料を収集したり発表したりしている。 c:住環境について必要な情報を収集、整理することができる。 d:地域社会とつながり暮らすことの重要性について理解している。	学習態度の観察 ワークシートの記述 実習記録 レポート 発表 自己評価、相互評価
3学期	生活設計	持続可能な社会の実現 ライフプラン	○ ○	○ ○	○ ○	○	a:これまでの学習のまとめとして自身の人生を見通し、生活資源を活かした生活設計を考えようとしている。 b:生活上の課題の解決を目指して科学的に探究し、表現している。 c:調査研究に必要な資料を収集、整理できる。 d:一生を通して社会の動きを見つめ、柔軟に対応する必要性や広い視野を持って生活を創造していくことの重要性を認識している。	

※令和３年度以前入学生用

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。